

給食を忘れないでね

校長 武井 正明

小学校1年国語の教材で「サラダでげんき」という作品がある。

病気のお母さんにりっちゃんはサラダ作りを思いつく。いろんな動物たちのアドバイスを経て、おいしいサラダが出来上がり。それを食べたお母さんはたちまち元気になるという「魔女の宅急便」の作者角野栄子の作品だ。

前任校時代、3年生がこれをリクエストして、給食のメニューとして採用されたことがある。「りっちゃんサラダ」は色鮮やかで、味も思ったとおりのおいしさだった。食べながら、「サラダでげんき」が甦ってきた。

その時も、栄養教諭や調理場の調理員さん達の愛情が、じわ〜と伝わってきた。本当に人生で、食べるって大事。愛が人の心と身体を育てていく。それが食育だ。

昨日は3年生が、中学生生活最後のカレーライスだった。

校長室の隣から、実にリズムカルな、ラップ音楽の歌声が聞こえてきた。思わず放送室に行ってみる。

もう姿はなかったが、歌声の主は、大山先生だというのではないか。すごいなあと感じているうちに、予定していた3年生の食事風景を撮りに行くのを、すっかり忘れてしまっていた。

来週は、ぜひ教室に撮りに行かせてもらいたい。



放課後、生徒玄関の廊下を歩いていたら、健康推奨委員会のサンクスウィークの企画の一環「3年生の給食ランキング」が掲示されてあった。

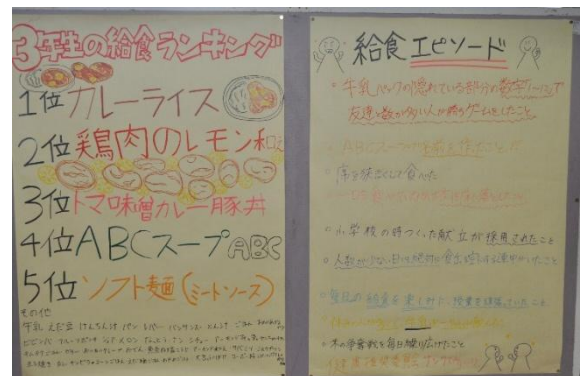
右には「給食エピソード」も紹介されてある。読んでいて楽しい。

そこでも第1位は、カレーライス。やっぱり人気だね。

2位は、鶏肉のレモン和え。これも外せない。独特の甘酸っぱさが爽やかな、給食ならではの一品だ。

4位のABCスープって何だ？思わず調べてみた。

「アルファベットや数字の形をした可愛いマカロニ（ABC パスタ）が入った、コンソメやトマト味の野菜スープ」だという。きっと吉中生の皆さんにとっては常識かな。まだまだ勉強不足です。



高校に行くと弁当持ちになる人が大半でしょう。

食堂がある高校もあるけれど、やっぱり給食の味とは少し違うんだよね。

来週はもう、弥生三月「去る三月」 給食も残り3回。

別れを惜しみながら、楽しくすごした給食の時間を、忘れないでいてほしいな。